

第4回 京北SDGs農業研究会（仮）の開催について

京北山国の実証バイオガスプラントが来春から稼働します（※）。1日最大2tの液肥が生産され、70.5立米の貯留タンクが敷地内に設置されます。水田で同時期に液肥を利用するには、いかに多く貯留するかが課題になります。また、液肥貯留量のピークを下げるために分散して貯留する必要も考えられます。

岡山県真庭市の実証プラントでは1日1t前後の液肥が生産され、その半分は春の水田散布に使われるほか、40軒程度の各農家が自前のタンクに貯留したり、市民向けの配布ステーションからも週1~2回補充するペースで液肥が使われています。

今回の京北SDGs農業研究会（仮）では、液肥の消費や貯留の年間計画について、岡山県真庭市での先進事例を伺いながら検討します。

※参考：京都市【広報資料】京北地域における生ごみバイオガス化の取組について
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000307115.html>

1 日時

令和5年1月17日（火） 午後16時30分～18時30分

2 開催場所

京都里山SDGsラボ〈ことす〉（元京北第一小学校内）

2階221号室 DXスタジオ

※コロナ対策を万全にして実施します

オンライン参加も承ります

3 議題「バイオ液肥利用の年間計画」

話題提供： 真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合

事務局次長 山口 浩 氏

進行：（一社）びっくりエコ研究所 丸谷 一耕

コメンテーター：京都農業の研究所株式会社 間藤 徹氏（京大名誉教授）

1. 山国の実証プラントにおける液肥の生産量と貯留量について
2. 岡山県真庭市実証プラントでの液肥の配布状況
3. 質疑応答
4. 2月6日（月）視察交流イベントについて
（京北農家と市街地農産物消費事業者（ホテル、飲食店等）との交流）

4 出席のご連絡について

当日参加も歓迎しますが、事前にお知らせ下さるとありがたいです。

連絡先：びっくりエコ研究所／上田祐未（070-5043-3059 u-yumi@kino-eco.or.jp）

実施：（一社）びっくりエコ研究所／京都大学大学院地球環境学堂 浅利美鈴研究室